

# 令和5～7年度入学者

## システム生物学教育コース

凡例	科目区分	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目
	再掲は薄色で表示	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目

学修目標			修士1年				修士2年				博士1年		博士2年		博士3年				
区分	修士課程	博士課程	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
D 実践	D-2.複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を提案することができる。	D-2. 複眼的な視点を有し、多様かつ斬新な問題解決法を提案することができる。	インターンシップ (1)				インターンシップ (2)				国際交流演習 I (1)		国際交流演習 II (1)		国際交流演習 III (1)		国際交流演習 IV (1)		
	D-1.学際的知識を社会に還元する意欲を有する。	D-1. 先進的・学際的な知識を社会に還元する能力を有する。	インターンシップ (1)				インターンシップ (2)				演示技法 I (1)		演示技法 II (1)		国際演示技法 (2)				
C-2 統合・創造能力 (評価・創造)	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	システム生物学特別研究第一 (2)		システム生物学特別研究第一 (4)		システム生物学特別研究第二 (2)		システム生物学特別研究第二 (4)		システム生物学特別実験 (2)	システム生物学特別講究 (5)		システム生物学特別演習 (5)		ティーチング演習 (2)		インターンシップ (2)	
	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	システム生物学特別研究第一 (2)		システム生物学特別研究第一 (4)		システム生物学特別研究第二 (2)		システム生物学特別研究第二 (4)		システム生物学特別実験 (2)	システム生物学特別講究 (5)		システム生物学特別演習 (5)		ティーチング演習 (2)		インターンシップ (2)	
C-2 統合・創造能力 (評価・創造)	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	国際交流演習 III (1)				国際交流演習 IV (1)												
	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2. 生物学、生物資源学、生命科学関連の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を見出し、生物学・生物資源学を構成する多様な生物種の生命科学を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	システム生物学特別研究第一 (2)		システム生物学特別研究第一 (4)		システム生物学特別研究第二 (2)		システム生物学特別研究第二 (4)		システム生物学特別実験 (2)	システム生物学特別講究 (5)		システム生物学特別演習 (5)		ティーチング演習 (2)		インターンシップ (2)	
C-1 専門的能力 (適用・分析)	C-1-1. 生物学学生体成分の物質的基礎とその反応性・生物資源の普遍的または特異的な生命現象を業務に必要なレベルで理解し、新規の開発に利用できる。	C-1-2. 生物学学生体成分の物質的基礎とその反応性・生物資源の普遍的または特異的な生命現象を業務に必要なレベルで理解し、新分野の開拓に利用できる。	システム生物学特別研究第一 (2)		システム生物学特別研究第一 (4)		システム生物学特別研究第二 (2)		システム生物学特別研究第二 (4)		システム生物学特別実験 (2)	システム生物学特別講究 (5)		システム生物学特別演習 (5)		ティーチング演習 (2)		インターンシップ (2)	
	C-1-2. 実験や計算の結果を解析・評価して、第三者に評価に耐える形で解説できる。	C-1-1. 実験や計算の結果を解析・評価して、第三者に評価される形で解説できる。	システム生物学特別研究第一 (2)		システム生物学特別研究第一 (4)		システム生物学特別研究第二 (2)		システム生物学特別研究第二 (4)		システム生物学特別実験 (2)	システム生物学特別講究 (5)		システム生物学特別演習 (5)		ティーチング演習 (2)		インターンシップ (2)	
B 知識・理解	B-2. 生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B. 生物学・生物資源を構成する多様な生物種の生命科学に関する基礎的・専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。	システム生物学特別研究第一 (2)		システム生物学特別研究第一 (4)		システム生物学特別研究第二 (2)		システム生物学特別研究第二 (4)		システム生物学特別実験 (2)	システム生物学特別講究 (5)		システム生物学特別演習 (5)		ティーチング演習 (2)		インターンシップ (2)	
	B-2. 生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B. 生物学・生物資源を構成する多様な生物種の生命科学に関する基礎的・専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。	システム生物学特別研究第一 (2)		システム生物学特別研究第一 (4)		システム生物学特別研究第二 (2)		システム生物学特別研究第二 (4)		システム生物学特別実験 (2)	システム生物学特別講究 (5)		システム生物学特別演習 (5)		ティーチング演習 (2)		インターンシップ (2)	

	B知識・理解	B-1.生物資源を構成する多様な生物種の生命科学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B.生物学・生物資源を構成する多様な生物種の生命科学に関する基礎的・専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。	バイオリソース特論(1)	遺伝子情報制御学特論(1)																				
				環境微生物学特論(1)	代謝機能調節学特論(1)																				
				システム生物化学特論(1)	昆虫機能科学特論(1)																				
					複合微生物学特論(1)																				
				システム生物学特論第一(1・隔年)																					
				システム生物学特論第二(1・隔年)																					
				システム生物学特論(E科目)(1・隔年)																					
A主体的な学び・協働	A-2.自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。	A-2.自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、教育力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。	システム生物学特別研究第一(2)	システム生物学特別研究第一(4)	システム生物学特別研究第二(2)	システム生物学特別研究第二(4)														システム生物学特別実験(2)					
																						システム生物学特別講究(5)			
																							システム生物学特別演習(5)		
																							プロジェクト演習(2)		
																								システム生物学ティーチング演習(2)	
																								ティーチング演習(2)	
																									インターンシップ(1)
																									インターンシップ(2)
																									演示技法I(1)
																									演示技法II(1)
																									国際演示技法(2)
																									国際交流演習I(1)
																									国際交流演習II(1)
																									国際交流演習III(1)
																						国際交流演習IV(1)			
																						システム生物学プロジェクト演習(2)			
A主体的な学び・協働	A-1自然科学、特に生物資源とその機能性を活用した生物学に関わる幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組むことができる。	A-1.自然科学、特に生物資源とその機能性を活用した生物学に関わる幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組む、解決し、新分野の開拓に貢献することができる。																				システム生物学特別実験(2)			
																							システム生物学特別講究(5)		
																								システム生物学特別演習(5)	
																								プロジェクト演習(2)	
																									国際交流演習I(1)
																									ティーチング演習(2)
																									国際交流演習II(1)
																									演示技法I(1)
																									演示技法II(1)
																									国際演示技法(2)
																									インターンシップ(1)
																									インターンシップ(2)
																									生物資源環境科学特論(1)
																									システム生物学プロジェクト演習(2)
区分	修士課程	博士課程	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬			
	学修目標						修士1年	修士2年						博士1年	博士2年	博士3年									
	課程の時期区分																								
	アセスメント・プラン																								
	2年間の学びの集大成としての修士論文審査の際に、並行して、到達学修目標の達成度の評価を、教員側からの評価項目及び学生による自己評価項目に基づいて実施する												3年間の学びの集大成としての博士論文審査の際に、並行して、到達学修目標の達成度の評価を、教員側からの評価項目及び学生による自己評価項目に基づいて実施する												